

2019-2020 年度 R I テーマ



# 週報



Rotary  
第 2570 地区

## 入間ロータリークラブ

2019-2020 RI 会長:マーク・ダニエル・マローニー RI2570 地区ガバナー:鈴木秀憲 会長:滝沢文夫 幹事:晝間和弘

第 6 号 3086 回例会 2019 年 8 月 8 日 (木)

### 鈴木秀憲ガバナー公式訪問例会開催



国際ロータリー第 2570 地区ガバナー公式訪問 於:武蔵クラブ

#### <ビジター・ゲスト>

第 2570 地区ガバナー	吹上ロータリークラブ	鈴木 秀憲 様
第 3 グループガバナー補佐	新所沢ロータリークラブ	徳永 眞澄 様
第 2570 地区幹事	行田さくらロータリークラブ	藤倉 武 様



## ＜❁会長の時間❁＞ 滝沢文夫会長

今月8月は会員増強拡大月間です。会員増強の「増」は会員の量を増やすことであり、増強の「強」は何でしょう？会員を強くするってどういうことでしょうか？この「強」とは会員の質を高めること即ち、会員の内なる人を強くする、内なる心を磨くことだと思います。鈴木ガバナーのおっしゃる「ロータリーって何」の答えが心を磨く事とあります。このことです。ただし心を磨くためにはロータリアンの教育が絶対条件だと思います。会員の質を高めることなくして真の会員増強はないと思います。会員の量の増大のみ求めても、それで良いのでしょうか？



会員の減少の原因は何でしょうか。社会が不況だからでしょうか。アメリカでは好況ですが会員は減少しています。日本でも会員は減少しています。最大の原因は、ロータリーに魅力がなくなったことではないでしょうか。何故、ロータリーに魅力がなくなったのでしょうか。ロータリアンがロータリーの心を忘れているからでしょうか。私たちの先輩は一貫してロータリアンの魂の浄化、心を磨くことを心掛けてきたのです。「ロータリーは、人間の魂の在り方の問題である」言われてきたとのことですが、ロータリーは心の開発をするところだと言えるでしょう。そこにロータリアンは誇りをもったのです。したがって、ロータリアンが、もう一度この誇りを取り戻さずして、ロータリーの魅力を回復することはできないと思います。とにかく、ロータリーを強化しようとするなら、ロータリアンの内なる心を強化することが絶対に必要と思います。それにはロータリアンの教育を欠かすことはできないと思います。

現在、地区では加藤 PG を研修委員長として研修に力を入れています。RLI などその一例だと思います。ロータリーではリーダーシップという言葉がよく使われます。我々

ロータリアンの仲間の多くはそれぞれの企業等のトップにいる方々です。今さらリーダーシップもないだろうと思われがちですが、ロータリーでいうところのリーダーシップとは帝王学を学ぶということではなく、哲学を学ぼうということだと思います。かつて、米山梅吉翁はロータリーというところは「心の道場」と言われています。ここに会員の質の向上があると思います。冒頭で申しましたように、鈴木ガバナーが言われている「ロータリーって何」の答えが、自分自身を磨くことにあることこそロータリーに関する教育の原点であり、増強の核心だと思います。また、我々入間クラブでも「ロータリー情報委員会」がありますが、この委員会のより良い活躍を望むところです。

RIの会長は量と質との両立を訴えています。質の向上については、良質な新会員の獲得のみならず、現会員の退会防止も忘れてはならないことだと思います。量と質の両立のついてたとえ話をしてみますが、ある動物学者が「ジャングルの法則」というものを言っています。一匹の力強いものが群れの力を強くします。また、群れを構成する一匹一匹が、まさに一匹狼のように強いことが全体の力を強くすると言っています。ロータリーも一人一人のロータリアンを強くすることによって、ロータリークラブが強くなると思います。

何度も申し上げますように、ロータリアン一人一人の内なる人を強くすること、即ち、会員の教育が必要不可欠となります。これなくして量と質の両立を考えることはできないと思います。会員増強の「増」は量の問題。「強」は質の問題。どちらも同じくらいに大事であることを忘れてはならないと思います。

## ＜幹事報告＞

### 晝間和弘幹事

1. 第 2570 地区事務所・入間クラブ事務局 来週夏休み
2. 8月ロータリーレート  
1 ドル 108 円





国際ロータリー第2570地区

ガバナー 鈴木 秀憲 様

ロータリーの活動は、「より健康で・平和で持続可能な世界に向けた国連の継続したコミットメント(約束・責任)」を共有しています。ロータリーのインフラは、奉仕と平和と云う精神の下に世界中の人々が繋がる事が出来、目標に向かって意義ある行動を起こす事の出来るものです。



ロータリーのビジョン声明は、「私達ロータリアンは世界で・地域社会でそして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生む為に、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」と言っています。これはSDGs(持続可能な開発目標)を指していると考えます。ロータリーを通じて私たちは繋がります。

ロータリーで私達はお互いの違い(人種や宗教・言語)を超え、深く意義ある形で行なう事が出来ます。ロータリーが無ければ出会う事が無かった人や支援を必要とする人々とのつながりをもたらしてくれます。私達は全員が属する世界的なコミュニティの人達とつながっているのです。

マーク・ダニエル・マローニーエレクトは「ロータリーの中核にあるのがこの『つながり』であり、これが2019-20年度の私のテーマです。」と、結びました。

私は、マーク・ダニエル・マローニーRI会長エレクトのこの講演を聞き、ロータリアンの一員である事に改めて誇りと責任を自覚し、「世界がかつて無い程分断されている今、世界をつなぐのがロータリーである。私達は人類の多様性をつなぎ、共通の目的を追求しながら、未永く深い絆を作り出す為に、具体的行動を起こす責任がある。」と深く心に刻みつけました。又、国際協議会を通じて「変化、変化を受け入れる。」という言葉も、「つなぐ」と同様に、強調されました。『時代が変わっている。変わっている時代の変化への対応。そして組織運営に柔軟性を取り入れるという事。』が力説さ

れました。そして、この「つなぐ：つなげる」という言葉と「変わる、変える」をお借りし、2019-20年度地区テーマを「未来へつなぐ」と「変える」にしました。

- つなげる：未来へつなぐ  
組織の未来へつなげる 組織運営を  
個人の未来へつなげる 奉仕活動を
- 変化：変える(基本に戻る)  
不合理な事・不便な事に対処すると、  
結果変化しなければならなくなる。
- 地区運営で私が心掛ける事  
地区組織の簡素化、基本に戻る、説明の  
簡略化
- クラブ会長にお願いする事  
クラブ運営に柔軟性を、意識改革(自分で  
壁を作らない・型に嵌め込まない)



ロータリーの目的は、The Object of Rotaryに表されている通り、先ずは会員個々が職業奉仕に努め、(一言で表すと自分や自分の職業を磨く事。その結果、貴方の提供する製品や商品やサービスはさらに改善され、お客様は喜び、世間の為になり、お店も繁盛します。)

その上で、会員・クラブ・地区が社会奉仕(地域活性化)・国際奉仕(世界平和)に努める事と考えます。この事は唱えているだけでは実現できません。自ら活動することが大切です。



図柄はロータリーが動くことで良い風が吹く事を表しています。

真実に向かって・信ずる処に向かって活動しましょう。活動した結果は必ず成果となって表れます。良い風(新風)が必ずや吹くでしょう

### 第3回クラブ協議会

クラブ協議会はRLI方式を採用し討論会形式で行いました。

忽滑谷明会員・吉永章子会員・齋藤栄作会員のディスカッションリーダーの元、3グループに分かれ3テーマについて、効果的な方法、具体的に実践的な支援方法、ロータリーの活動が他団体や市民に認知されるには等の活発な意見交換がされました。

- ①「クラブのサポートと強化」
- ②「人道的奉仕の重点化と増加」
- ③「公共イメージと認知度の向上」

最後に鈴木ガバナーより講評をいただきました。

①の「各会員に役割を」は良い方法ですね。②の「人道的奉仕」ではお金もそうですが野菜などの植え付け方を長く継続していく等も考えられます。③「奉仕活動は一般の人と混じって汗をかいて活動しよう」「他の団体と一緒に」そしてロータリーは世間で何を必要なのかを発見し、長く継続して社会奉仕活動することが大切だと思います。

本日は、このクラブの方々には熱心に議論しているなーと良い印象を受けました。



### ロータリー美術館



鈴木ガバナーの公式訪問を歓迎して、恒例の「ロータリー美術館」を開催。滝沢文夫会員、岩崎茂会員、吉沢誠十会員、新井格会員の説明を聞きながら美術品等を楽しんでいただきました。

### <ニコニコBOX> 馬路宏樹 SAA

★鈴木ガバナー、徳永ガバナー補佐、藤倉地区幹事、本日は宜しくお願いします。  
「滝沢文夫君、晝間和弘君、忽滑谷明君、細淵克則君、馬路宏樹君、宮寺成人君、繁田光君」

本日¥7,000

累計¥131,539

### <出席報告>

吉岡信人委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
42名	28名	70.00%	64.10%

事前欠席連絡 10名

### 発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0023 入間市扇台3-3-7ハイツ斎竹101号 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788  
 ■Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp  
 ■例会場：丸広百貨店入間店6Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111  
 ■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：宮崎正文

